

事項	カーネーションの病害虫の発生実態		
ねらい	平成9～10年の調査でカーネーションの病害虫の発生実態の概要が明らかになったので防除指導上の参考に供する。		
指 導 参 考 内 容	<p>1 病害</p> <p>[葉に発生する病害]</p> <p>(1) 黒点病：平成10年11月、青森市の一部で多発生ハウスを認めたが、2カ年とも全般に発生は少なかった。</p> <p>(2) 斑点病：平成10年11月、青森市の一部で多発生を認めたが、病斑上に胞子はなく、ほぼ終息していた。他では2カ年とも確認されなかった。</p> <p>(3) さび病：青森市の1ハウスで発生を認めたのみであった。</p> <p>[茎に発生する病害]</p> <p>(4) 茎腐病：十和田地区、青森地区とも広く発生し、多発生ハウスも認められた。</p> <p>(5) 立枯性病害： 多発生ハウスが認められた。茎の節部を中心に上下に淡褐変し、オレンジ色のFusarium菌大型分生胞子塊が観察されることがあった。また、収穫後の切り口から腐敗し、Fusarium菌の大型分生子が形成される場合もあった。これらは萎ちょう病又は立枯病と考えられるが、今後菌種を確認する必要がある。</p> <p>(6) 菌核病：平成9年6月、十和田市の一部で発生を確認したが、他では2カ年とも発生を認めなかった。</p> <p>2 虫害</p> <p>(1) アザミウマ類 今回の調査で発生が確認されたのは、ネギアザミウマ、ヒラズハナアザミウマ及び侵入害虫であるミカンキイロアザミウマの3種であった。 ネギアザミウマは花でも発生が確認され、かすり状の被害がみられたが、主に生育初～中期の心葉被害に関与しているものと思われた。 他の2種は蕾や花で発生が確認され、かすり状の被害がみられた。特に、ミカンキイロアザミウマは発生確認地点率が最も高く、被害が著しいハウスがみられた。また、ミカンキイロアザミウマの発生は夏以降に目立つ傾向がみられた。</p> <p>(2) ハダニ類 広く発生が確認されたが、多発して蕾や花にまで寄生・加害が及ぶようなハウスは少なく、ほとんどが寄生が確認される程度であった。今回の調査で発生が確認された種類はカンザワハダニのみであった。</p> <p>(3) タバコガ類 今回の調査で発生が確認されたのは3ハウスのみであったが、蕾や花が食害され、収量、品質への影響が大きかった。</p> <p>(4) ヨトウガ 生育中期の1ハウスで発生が確認され、食害もやや目立った。</p>		
期待される効果	防除指導上の参考とする。		
利用上の注意事項			
担 当	フラワーセンター21あおもり 生産技術部	対象地域	県下全域
発表文献等	平成8、9、10年度 フラワーセンター21あおもり試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 カーネーション病害の発生実態

(平成10年 フラワーセあおもり)

調査月日	調査地点	品 種	病 害 の 種 類			備 考
			黒点病	茎腐病	その他枯れ症状	
6月17日	十和田市相坂H1 十和田市相坂H2 十和田市相坂H3 十和田市切田K1 十和田市切田K2 十和田市切田K3 十和田市切田K4 十和田市五十貫田01 十和田市五十貫田02 十和田市五十貫田03 十和田市五十貫田04	コスタンゾウ	0/100	0/100	9/100	Fusarium分離、前年ヒマワリ 草丈約1m、発蕾期
		ロデリック	0/100	0/100	0/100	
		カサブランカ	0/100	0/100	0/100	
		赤色スタンダード系	0/100	0/100	0/100	
		桃色スタンダード系	0/100	0/100	0/100	
		赤色スタンダード系	0/100	0/100	0/100	
		桃色スタンダード系	0/100	53/100	0/100	
		桃色スプレー系	0/100	0/100	0/100	
		赤色スプレー系	0/100	0/100	0/100	
		赤色スプレー系	0/100	0/100	0/100	
		桃色スプレー系	0/100	0/100	0/100	
		桃色スプレー系	0/100	0/100	0/100	
		桃色スプレー系	0/100	0/100	0/100	
		桃色スプレー系	0/100	0/100	0/100	
7月7日	青森市奥内N1 青森市奥内N2 青森市奥内N11	シンフォニーローズ	8/100	0/100	0/100	さび病：5/100
		ウエストダイヤモンド	0/100	42/100	0/100	
		希望の光	0/100	1/100	5/100*	
10月23日	十和田市相坂H4  十和田市相坂H5 十和田市相坂M1 十和田市切田K5 十和田市五十貫田05	ランデブー	0/100	0/100	91/100*	*ピンチ痕から枯れ込み節 にFusarium大型分生子 *同上、2度切り栽培 前作：トルコギキョウ *生育後半に発生増加
		ラビアンローズ	0/100	18/100	13/100*	
		オパール	0/100	6/100	5/100	
		オパール	0/100	7/100	0/100	
		アレグリア	0/100	38/100*	0/50	
11月9日	青森市奥内N2 青森市奥内N3 青森市奥内N6 青森市奥内N8 青森市奥内N9 青森岡町E1 青森岡町E2 青森岡町E3	ウエストダイヤモンド	散見	73/100	0/100	節にFusarium大型分生子 *斑点病 10年以上連作 スポンジプラグ苗使用 *Fusarium大型分生子なし
		パープル	82/100	0/100	0/100	
		ルセナホワイト	0/100	62/100	0/100	
		赤色スタンダード系	0/100	0/100	45/100	
		黄色スタンダード系	88/100*	散見	0/100	
		タスマン	0/100	0/100	0/100	
		ウインク	0/100	散見	0/100	
		ウインク	65/100	散見	18/100*	
		ウインク	65/100	散見	18/100*	
		ウインク	65/100	散見	18/100*	

注) 表中数字：発生株数／調査株数

表2 カーネーションの虫害発生実態調査

(平成9年 フラワーセあおもり)

調査月日	調査地点	品 種 名 等	調査部位	害 虫 の 発 生 状 況		
				アザミウマ類	ハダニ類	そ の 他
6月17日	十和田市相坂A 〃 相坂B 相坂C 切田 〃	カサブランカ	茎葉	発生なし	発生なし	ハダニ類上位葉、蕾にも被害
		オデム	蕾、茎葉	若干被害	全株に発生	
		カサブランカ	蕾、茎葉	発生散見	発生散見	
		ミルククラウン他	蕾、茎葉	発生散見	発生散見	
7月3日	青森市奥内A 奥内B 奥内C 〃	ピンクコレノ	茎、葉	全株に被害	発生散見	ネギアザミウマの寄生確認
		ギルボア	蕾、茎葉	発生なし	全株に被害	
		キャンドル	蕾、茎葉	0/100	発生確認	
		キャンドル	蕾、茎葉	0/100	全株に被害	
		プリオ	茎葉	10/100	発生なし	
		ロイヤルグリーン	茎葉	14/100	発生なし	

表3 カーネーションにおけるアザミウマ類の種類別発生確認地点率及び被害状況

(平成8～10年 フラワーセあおもり)

項 目	調 査 地点数	寄生確認種名			被害確認地点率		備 考
		ミカンキイロアザミウマ	ヒラズハナアザミウマ	ネギアザミウマ	生育期心葉被害	花の被害	
確認地点率 (%)	15	60.0	26.7	26.7	33.3	80.0	花の被害は、全般には軽微であったが、優占種がミカンキイロアザミウマの場合にはほぼ全花に被害がみられるハウスがあった

表4 カーネーションにおけるタバコガ類の発生確認状況

(平成8～10年 フラワーセあおもり)

年 次	調査月日	発生確認地点	露地・施設の別	同 定 害虫名	被 害 ・ 発 生 状 況 等	
					被 害 状 況	寄 生 状 況
平成8年	9月25日	青森市奥内	ハウス	タバコガ類	蕾にタバコガ類の食害若干みられる	幼虫確認できず
平成9年	8月20日	青森市岡町	ハウス	オオタバコガ(ツメクサガ)	蕾にタバコガ類の食害目立つ 被害蓄率 数% 被害株率 10%前後	若・中齢幼虫主体で、卵もかなり認められる ツメクサガは幼虫1頭のみ確認
		青森市奥内	ハウス	タバコガ類	蕾にタバコガ類の食害若干みられる	幼虫確認できず